

令和5年度 教育委員会事務局教育部運営方針

部局名 : 教育委員会事務局教育部

部局長名 : 丸山 理佳

基本方針（政策目標）

教育委員会事務局教育部は、学校・社会教育施設などの教育機関を管理・更新し、学校の組織編制や教育課程、教科書採択などの事務を行うとともに、社会教育や学術・文化、青少年育成やスポーツ振興に関する事務の管理・執行を行うなど、教育行政を担います。施策の推進にあたっては、「泉大津市教育振興基本計画」「泉大津市生涯学習推進計画」「学校園に対する教育方針」に基づき、様々な教育環境の変化にも対応し、総合的・計画的で先進的な教育行政の推進を図ります。

- ① 小津中学校・条東小学校長寿命化改良工事及び上條小学校建替設計・楠小学校長寿命化改良工事設計を進めるにあたり、令和4年度に策定した「泉大津市教育施設再編計画」に基づき、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を推進するため、学校と地域の連携・協働の拠点となる地域交流ゾーンを学校内に整備します。
- ② 小中学校給食において、季節や日本古来の行事を感じたり、子どもたちがわくわくするような特別な給食日である「ときめき給食」を継続するとともに、使用する米については、農山村地域から「オーガニック米」や「特別栽培米」として収穫された質の高いお米を本市が直接購入し、かつ、体により良い栄養価やうま味を残した特別な精米方法を施したお米を、保護者負担を変えず、1年を通じて学校給食に提供します。
- ③ デリバリー方式により実施している中学校給食において、より美味しい給食の提供と、調理員と顔の見える関係をつくることによる食育の推進を目的に、中学校給食においても自校調理方式による給食を実施するとともに、泉大津市における防災拠点の強化を図るため令和5年度に設計を行います。
- ④ 学識経験者に市内全小中学校の校内研修等、学校現場の取り組みから、学力課題

について検証・分析の上、指導・助言をいただき、「泉大津市学力向上プラン（令和6年度から3カ年計画）」を策定します。また、策定したプランのもと、児童生徒の学力の向上を図ります。

- ⑤ 小学校1校のモデル校に、校内適応指導教室の指導員を配置し、学校生活に不安や困難を感じている児童や不登校傾向児童への多様な居場所を確保することで、早期対応・早期支援を行います。また、保護者をエンパワーメントする取組みとして、小学校において家庭教育支援に対する理解を推進するための研修を行い、より効果的な活用を促すとともに、新規サポーターの育成研修を実施し、人材育成も図ります。
- ⑥ 気軽に文化芸術について話し合えるワークショップ「ブンカミーティング」を運営し、そのアイデアや意見を反映させることで市民が主体的に文化芸術活動を行う鑑賞型や体験型のイベント「まちなかアートフェス」を行います。
- ⑦ 本市の魅力ある文化財を、いつでも・どこでも・だれでも見ることができるデジタルアーカイブ「オリアムデジタルヒストリー」を活用し、本市の文化財が持つ魅力と価値を広く発信するとともに、教育現場での積極的な活用を推進します。
- ⑧ 「すべての市民が価値を創造する図書館」をコンセプトに、図書館シープラでは、子供の読書活動推進計画を策定し、学校や関係機関と連携しながら、子どもの読書活動が豊かになるようサポートします。加えて、市域の様々な場所で本や学びに触れられる「まちぐるみ図書館」の整備を進めます。
- ⑨ 総合体育館大体育室に空調設備を設置し、一年を通じて快適で安全にスポーツができる環境を整えるとともに、機能性を高め市民スポーツの拠点にふさわしい施設整備を実施します。
- ⑩ 中学生が将来にわたってスポーツ・文化活動を継続していくために、部活動の地域展開や、中学校にはない地域クラブの開設、部活動指導に関する研修の費用助成及び人員確保に関する取組みを進めます。